

吾妻山

○概況

地震活動は、月合計回数が 210 回で 7 月（208 回）とほぼ同じ状態でした。昨年 12 月頃から始まった地震活動のやや活発な状態は、消長を繰り返しながら低下傾向にあります。

大穴火口（一切経山南側山腹）付近の噴気の状態に、大きな変化はみられませんでした。

地震活動の状況

8 月は、上旬から中旬にかけて日合計回数が 10 回以上となった日が 8 日間あり、月合計回数も 210 回で 7 月（208 回）とほぼ同じでした。震源が精度良く求まる地震はありませんでした。

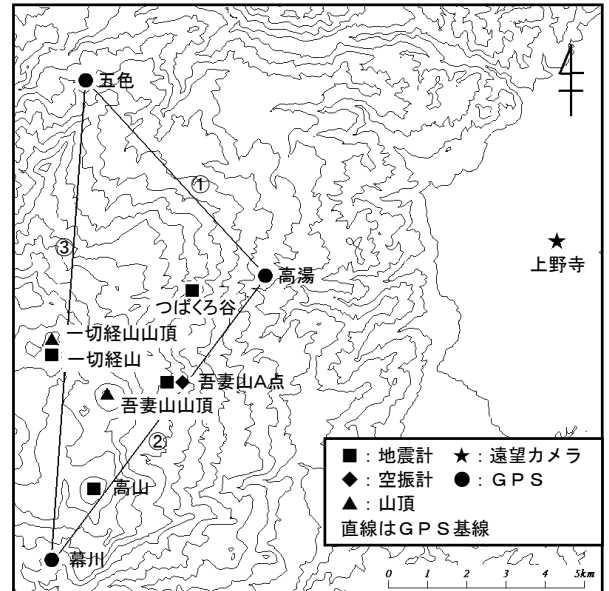
7 月上旬から 8 月中旬まで、やや地震回数の多い状態が続いていましたが、8 月下旬以降は日合計回数が 5 回前後で、比較的振幅の大きな地震もなく、5 月、6 月頃の状態に戻りつつあります。

火山性微動は観測されませんでした。

モホ面付近（深さ 30km 前後）が震源とみられる低周波地震は観測されませんでした（7 月 3 回）。

噴気活動の状況

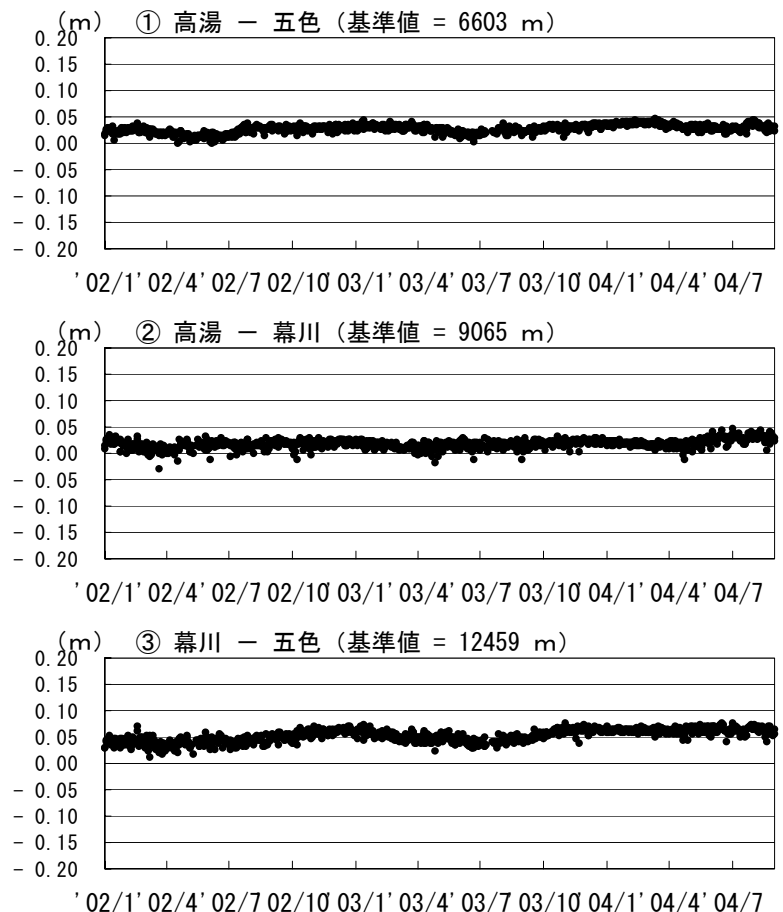
遠望観測（監視カメラ）では、大穴火口付近の噴気の高さは、25 日に 50m 観測されましたが、噴気の状態に大きな変化はみられませんでした。



吾妻山火山観測点配置図

地殻変動の状況

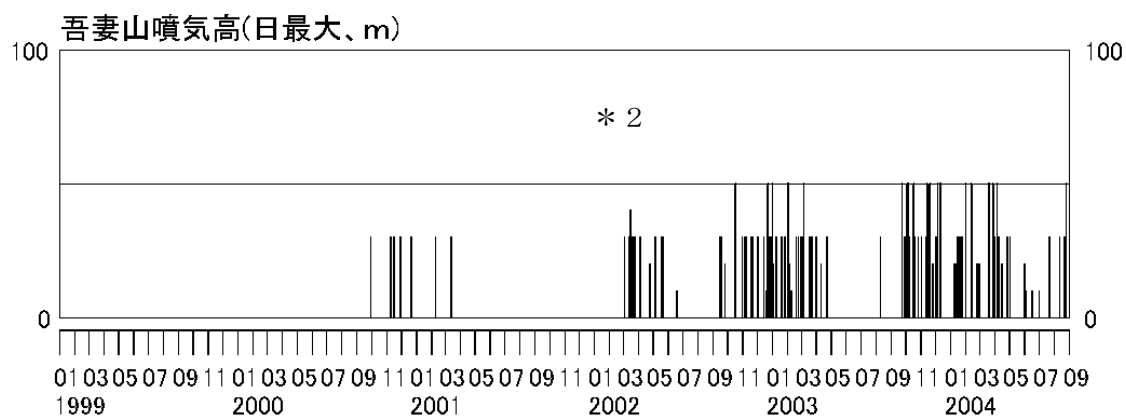
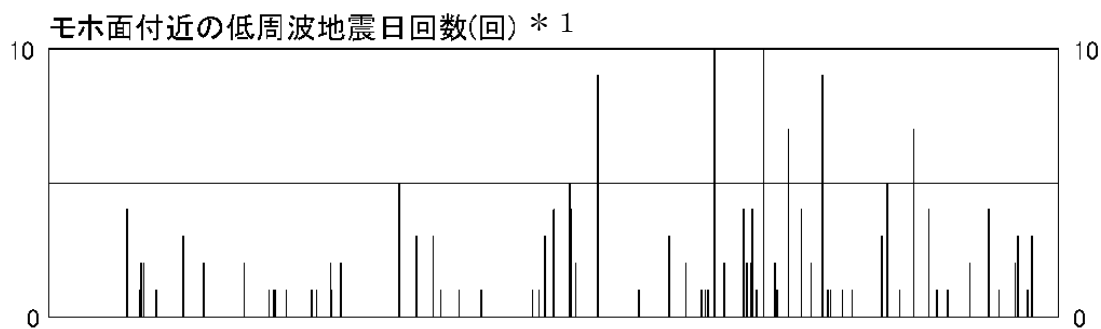
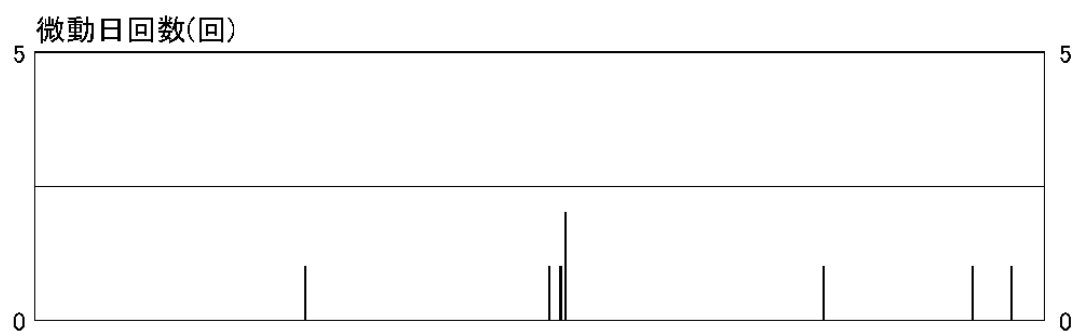
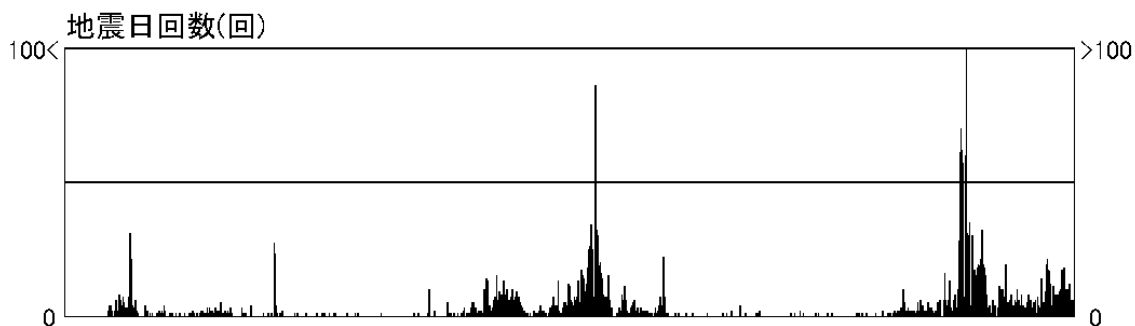
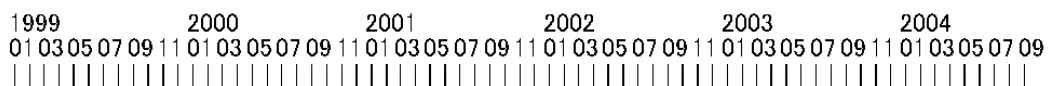
GPS による観測では、火山活動によると考えられる変化はみられませんでした。



GPS 基線長変化図（2002.1～2004.8）

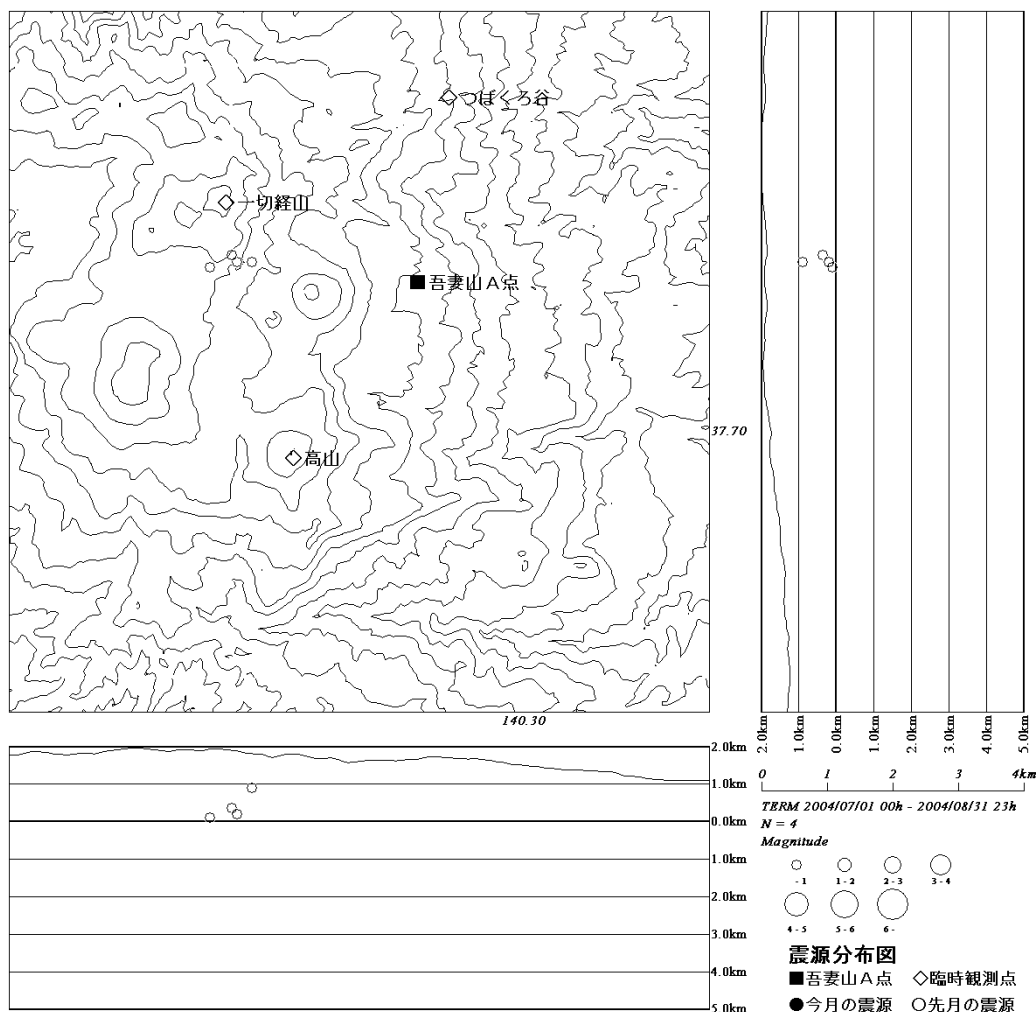
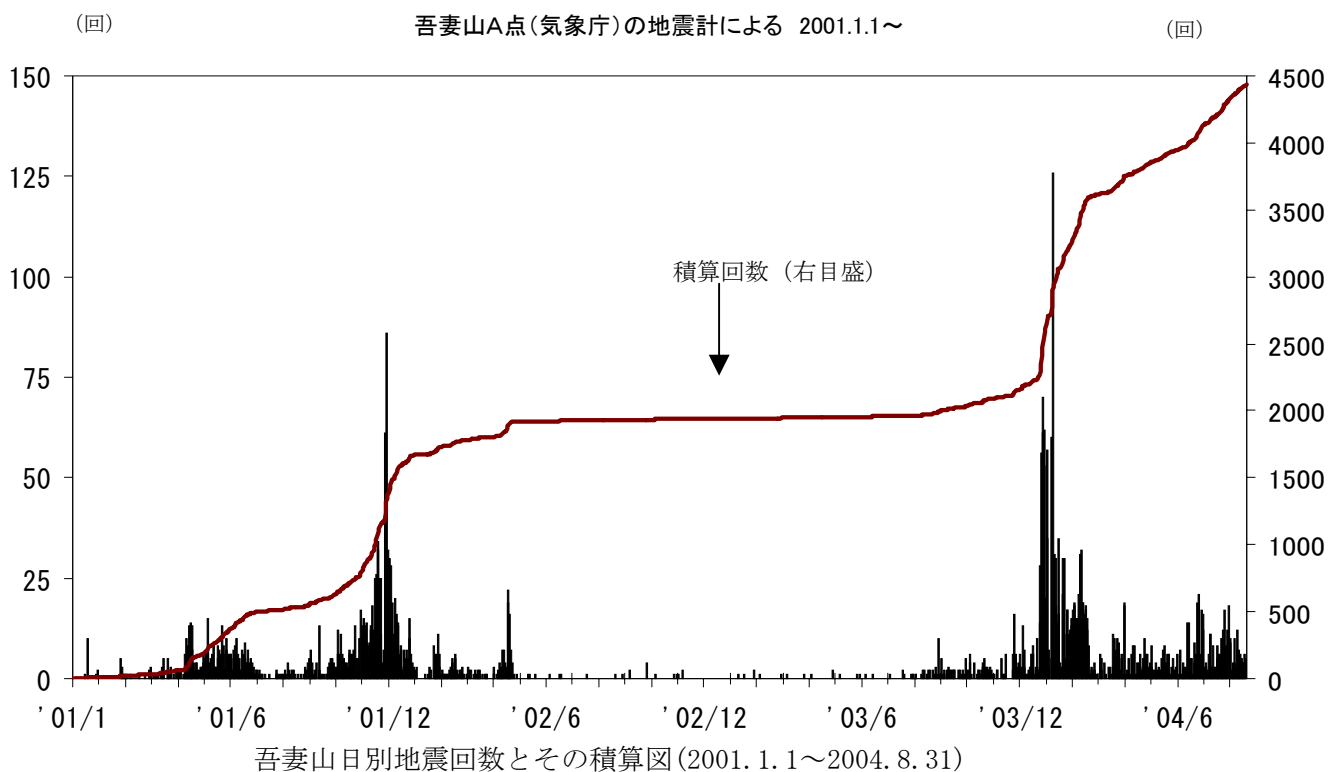
吾妻山 活動一覧

1999/01/01～2004/08/31



* 1 東北大学、独立行政法人防災科学技術研究所、及び気象庁のデータを基に作成しています。

* 2 2002 年 2 月以前は定時及び随時観測データ。
2002 年 3 月以後は収録データにより全時間を精査。



吾妻山震源分布図(2004. 7. 1～2004. 8. 31)